

(様式3)

事業所名 グループホーム川田の宿

ユニット名 椿棟・柊棟

作成日: 令和 6 年 12 月 4 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	2	コロナ禍以降、以前のように地域との交流(地域の方、ボランティア等)がほとんど出来ていなかった。	入居者の地域に出る機会や交流の機会を増やす。またボランティアの受け入れを少しずつ行い、入居者と地域の方(外部の方)との交流の機会を作り、地域に開かれた施設を目指す。	・地域の行事(お祭り、小学校運動会、中学校祭、文化祭等)への参加(見学)し、地域に出る機会を増やす。 ・地域の回覧板から情報を収集し、地域のイベントへ参加していく。 ・以前来訪していたボランティアへの声掛けをし、可能な範囲でのボランティア受け入れを実施していく(行事へ御の手伝い、参加等)。	12ヶ月
2	13	職員一人一人のケアの質の向上が出来ていない。コロナ禍の為外部研修への参加も少なかった。	個々人のスキルに合わせた研修への参加をすすめる、スキルの向上を図る。また法人内の他事業所で行われる研修へも参加をし、幅広い知識を身に付け、質の高いケアを目指す。	・毎年作成している研修計画に沿って計画的に研修参加をすすめていく。 ・職員からの参加したい研修の意向調査を行い、研修への積極的な参加を促す。 ・法人の他事業所で実施される各研修の情報を常に把握し、参加をする。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月